款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費

小事業名	小学生士別市交流事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	広域交流

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,588 千円	3,597 千円	99.7 %	59 円	一般財源 59 円	3,441 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,588千円

1 事業内容

(1) 市内全小学校5・6年生を対象に募集を行い、32人の児童を選考し、北海道士別市へ派遣しました。

期日	内容
6月7日(土)	みよし市小学生士別市派遣事前説明会
6月7日(土) 6月28日(土) 7月12日(土)	事前研修会(計3回) ・個人研究発表練習 ・いいじゃん踊り練習 ・しおりを使った事前指導
7月12日(土)	みよし市小学生士別市派遣団結団式
7月22日(火) ～7月25日(金)	みよし市小学生士別市派遣(4日間)
8月22日(金)	みよし市小学生士別市派遣団解団式

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	友好都市国内交流事業補助金 [交付先]みよし市小学生士別市派遣団	3,445,832円

2 事業の成果

北海道士別市との友好都市提携の大きな目的である人づくりのための事業であり、派遣された児童が大自然に触れたり、士別市の人々と触れ合ったりする中で、士別市とみよし市の生活や文化の違いを肌で感じ取り視野を広げることができました。また、交流を深めることにより、相互の理解が図られ児童にとって貴重な体験となりました。

また、士別市派遣で感じたことや発見したことを報告書にまとめ、仲間に紹介することで、両市の交流を深める一助となりました。

1月には、士別市の小学生派遣団受入事業を実施しました。本市の小学生との交流を深めるとともに、本市の歴史や文化に触れ、士別市との違いを実感することができました。このことが、それぞれの地域の生活の良さを見つめるきっかけとなり、児童の視野を広げることにつながりました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	130304

小学生士別市交流事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 学校建設費
小事業名	**小学校施設整備事業（繰越明許費を含む）**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
241,040 千円	**468,308 千円**	**51.5 %**	**3,946 円**	**一般財源 2,618 円**	**320,540 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	31,098千円	0千円	50,000千円	0千円	0千円	0千円	159,942千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 安心、安全で快適な学習環境を整備するため、小学校施設に必要な改修工事等を実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	北部小学校トイレ改修工事設計業務委託	4,840,000円
工事請負費	小中学校防犯カメラ設置工事(小学校分)	31,554,725円
	三吉小学校渡り廊下壁面補修工事	1,210,000円
	黒笹小学校外構補修工事	1,199,000円
	南部小学校照明設備LED化工事【繰越明許費】	25,344,000円
	三好丘小学校照明設備LED化工事【繰越明許費】	88,319,000円
	緑丘小学校照明設備LED化工事【繰越明許費】	84,108,200円

2 事業の成果

北部小学校トイレ改修工事設計業務委託では、北部小学校の全てのトイレを対象に全面改修するための設計を実施し、令和8年度に実施する工事の準備を行いました。

小中学校防犯カメラ設置工事では、全12小中学校を対象に犯罪抑止のため校舎内の各階廊下及び外壁に防犯カメラを設置しました。

三吉小学校渡り廊下壁面補修工事では、雨漏り対策としてサッシシーリング打替等を行いました。

黒笹小学校外構補修工事では、外構の不陸整正のためインターロッキング撤去復旧等を行いました。

南部小学校照明設備LED化工事、三好丘小学校照明設備LED化工事及び緑丘小学校照明設備LED化工事では、各学校内の全ての照明設備をLED化しました。





小中学校防犯カメラ設置工事
黒笹小学校カメラ設置状況(校舎1階廊下、校舎1階外壁)



緑丘小学校照明設備LED化工事
照明設備LED化状況(1階廊下)

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120124

小学校施設整備事業（繰越明許費を含む）におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費

小事業名	中学校保健推進事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
14,330 千円	14,553 千円	98.5 %	235 円	一般財源 235 円	14,449 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	14,330千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 学校保健安全法第13条の規定に基づき、生徒1,759人の健康診断を行い、また、同法第15条の規定に基づき、教職員132人の健康診断を行いました。

≪学校別生徒数・学級数≫ (令和7年5月1日現在)

種別＼学校名	三好中	北中	南中	三好丘中	合計
生徒数	503人	501人	369人	386人	1,759人
学級数	19	19	16	15	69
教職員実施者	37人	34人	26人	35人	132人

(学級数単位:クラス)

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	学校医等報酬(内科医6人、歯科医6人、耳鼻咽喉科医2人、眼科医2人、学校薬剤師4人)	8,975,950円
手数料	定期健診看護師等手数料	177,609円
負担金	教職員健康診断 [交付先]みよし市民病院	3,478,078円
	生徒健康診断 [交付先]みよし市民病院	1,346,224円

2 事業の成果

学校医(内科・歯科・耳鼻咽喉科・眼科)の定期健診の実施により、生徒の健康状態を把握し、学校生活を健康に過ごすことができました。

教職員及び生徒の健康診断を行うことにより、健康管理をすることができました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120125

中学校保健推進事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
小事業名	**中学校管理運営事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
309,651 千円	**333,457 千円**	**92.9 %**	**5,069 円**	**一般財源 2,269 円**	**171,736 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	1,794千円	75,570千円	0千円	849千円	304千円	92,517千円	138,617千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 中学校施設の維持及び学習環境を整備するため、生徒用の机椅子を購入し、経年劣化に伴う必要な消耗品、管理用備品・教材用備品及び学校図書館を充実させるための図書を購入しました。また、教育用コンピュータ機器、GIGAスクール構想の実現に関連した一人一台タブレット端末等、情報教育環境の整備及び維持管理を行いました。

≪学校別生徒数・学級数≫ (令和7年5月1日現在)

学校名／種別	三好中	北中	南中	三好丘中	合 計
生徒数	503人	501人	369人	386人	1,759人
学級数	19	19	16	15	69

(学級数単位:クラス)

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	学校管理運営用消耗品費	20,410,515円
	知能検査用紙	268,520円
	理科消耗的備品	638,220円
	生徒用机椅子	1,845,800円
	中学校用充電式タッチペン	1,858,120円
印刷製本費	運営・教材用印刷製本費	642,736円
光熱水費	電気代、ガス代、水道代	38,718,964円
修繕費	学校施設修繕	5,027,693円
	管理用・教材用備品修繕、消防用機器修繕	813,505円
	タブレット修繕費	571,575円
通信運搬費	電話料	2,059,154円
	モバイルルーター通信費	242,297円
	学校LAN回線使用料	2,185,140円
	学校ネットワーク回線使用料	39,601円
保険料	全国市長会学校災害賠償保険	432,216円
手数料	剪定、備品メンテナンス等	884,699円
委託料	中学校校内通信ネットワーク保守業務委託	440,000円
	3中学校教育用コンピュータ機器等保守延長業務委託	858,000円
	中学校体育用具及び遊具保守点検業務委託	535,947円
	中学校施設総合維持管理業務委託	11,182,892円
	樹木管理等業務委託	1,181,980円
	中学校体育施設メンテナンス剤塗布等業務委託	735,810円

委託料	産業廃棄物(粗大ごみ)収集運搬及び処分、並びに特定家庭用機器運搬業務委託	655,260円
	中学校ICTヘルプデスク業務委託	981,200円
	一人一台タブレット端末設定業務委託	26,766,667円
賃借料	デジタル印刷機賃借料	1,247,400円
	コピー機リース料	2,230,285円
	教育用コンピュータ機器等賃借料	28,030,420円
	タブレット賃借料	15,769,755円
	大型提示装置賃借料	4,894,992円
使用料	中学校ネットワークシステム機器使用料	16,456,440円
	Microsoft365　Education　A3ライセンス使用料	1,859,000円
	3中学校教育用コンピュータ機器等ライセンス使用料	1,038,972円
	i-FILTER使用料	825,273円
	学習ソフト使用料	1,455,264円
備品購入費	教材用備品	993,513円
	管理用備品	1,206,843円
	理科備品	3,279,254円
	図書備品	1,466,360円
	校務用コンピュータ(29台)	6,328,960円
	スポットクーラー(10台)	836,000円
	GIGAスクール用タブレット端末購入	120,551,640円
	一人一台タブレット管理用機器等購入	1,495,267円

2 事業の成果

市内4中学校において、施設に関する各種保守点検業務委託、検査業務委託、維持管理等委託及び修繕を行い、学校施設を良好な状態で維持管理を行うことができました。

GIGAスクール構想第2期における一人一台タブレット端末の更新を行い、学習の質の向上及び個別最適化の推進を図ることができました。また、計画的に児童の学習環境を整備するため、各学校からの要望をもとに学校教育に必要な機器のリースと備品を購入し、適切な学校運営及び教育環境の向上を図ることができました。学習ソフト使用料について、ライセンスを延長利用することで、中学校における教育ICT環境の安定的な運用を維持でき、授業に支障を生じさせることなく、生徒の学習活動を支援することができました。

中学校の2階以上の配膳室にスポットクーラーを設置し、配膳員の執務環境を改善することができました。

作成課【教育部　学校教育課】	事務事業番号	120127

中学校管理運営事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

小事業名	中学校就学援助事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
8,301 千円	10,650 千円	77.9 %	136 円	一般財源 130 円	9,406 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	371千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	7,930千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 経済的な理由によって就学困難な要保護及び準要保護家庭、また、特別支援学級に通学する生徒のいる家庭に対して、新入学用品費、学用品費、校外学習費、修学旅行費等の援助を実施しました。

≪実績≫

区 分	申請者	認定者		不認定者
要保護・準要保護生徒就学援助費	127人	継続	新規	1人
		121人	5人	
特別支援学級生徒就学奨励費	36人	25人		11人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
扶助費	要保護・準要保護生徒就学援助費	7,559,669円
	特別支援学級生徒就学奨励費	741,453円

2 事業の成果

経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対して、新入学用品費、学用品費、校外学習費、修学旅行費等の必要な援助をすることで、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の改善を図ることができました。



出典:イラスト満タン

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120130

中学校就学援助事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

小事業名	中学校学習・教育活動事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
15,444 千円	16,628 千円	92.9 %	253 円	一般財源 238 円	17,410 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	130千円	0千円	0千円	0千円	794千円	14,520千円

1 事業内容 【重点施策】

(1) 恵まれた自然環境の中で集団生活することを通じて、生徒に自然との触れ合いや仲間と協力することの大切さ等を学んでもらうため実施する自然教室に必要なバス借上げを行いました。また、各種大会等への生徒・選手派遣に必要なバス借上げを行いました。

学校管理下における生徒のけが等が生じた場合に備え、災害共済給付金を支払いました。

対象生徒に対して卒業記念品・入学祝品を贈りました。

生徒に確かな学力を身に付けさせるために必要な生徒一人一人の学習状況の把握を目的に、豊田市と合同で学習診断テストを実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	卒業記念品、入学祝品	1,820,859円
委託料	キャリア教育推進業務委託	130,000円
賃借料	各種大会・行事生徒派遣バス借上料	3,402,320円
	自然教室バス借上料	5,706,144円
負担金	学習診断テスト実施負担金 [交付先]豊田市	2,716,182円
	日本スポーツ振興センター災害共済給付契約掛金 [交付先](独)日本スポーツ振興センター	1,619,130円

2 事業の成果

入学祝品として、自転車用ヘルメットを、卒業記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈しました。

自然教室や各種大会等生徒・選手の派遣におけるバス借上げを行うことで、会場と学校間の安全な交通手段を確保することができました。また、校外活動を通して、通常の学校生活では触れることのできない貴重な体験をすることで、生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることができました。

1年生及び2年生は1回、3年生は3回の学習診断テストを実施することで、きめ細かく学習の状況を把握することができ、個々の進路指導等に生かすことができました。

災害共済給付制度に加入することで、学校の管理下における生徒のけが等に対し、保護者の負担軽減を図ることができました。また、日本スポーツ振興センターが発行する資料を保健・安全の指導に活用することで、各校において学校生活における安全意識の向上が図られました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120131

中学校学習・教育活動事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

小事業名	中学校部活動支援事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
2,477 千円	3,659 千円	67.7 %	41 円	一般財源 13 円	2,794 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	1,692千円	0千円	0千円	0千円	0千円	785千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 部活動外部指導者を各中学校に配置し、各部活動の活性化と活動内容の向上を図るとともに、顧問の教員や部活動指導員による指導を補助しました。

また、「学校部活動」から「地域クラブ活動」への移行・展開を進めるため、部活動改革検討委員会で検討を行うとともに、移行期間の取組として、一部の種目の休日の部活動について、地域の方がクラブ指導者やクラブ協力者となって活動する「みよしクラブ」を実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	部活動外部指導者・みよしクラブ協力者謝礼	1,746,000円
	部活動改革検討委員会委員謝礼	98,000円
保険料	部活動外部指導者・みよしクラブ協力者保険料	69,700円
委託料	みよしクラブ(吹奏楽)指導業務委託	563,200円

2 事業の成果

専門的な知識・技能を有する部活動外部指導者による指導は生徒の技能向上の助けとなり、より充実した活動を行うことができました。部活動外部指導者が顧問と一緒に部活動指導に当たることで、技能面の向上及び、生徒の安心・安全な活動へとつながりました。

休日の部活動の地域移行・地域展開の段階的取組として、既存の部活動の種目を継続できるようにしつつ、みよし市のこどもたちをみよし市の大人(みよし市に関わりのある大人)で育てていくという視点で「みよしクラブ」の活動を実施しました。既存の部活動において休日に行われている活動を、令和8年度からは「みよしクラブ」へ地域展開することとし、活動形態や受益者負担の在り方等について検討を継続します。また、全ての種目で「みよしクラブ」の活動を今後も継続して行えるようにするためには、クラブ指導者やクラブ協力者の確保が課題となっており、市スポーツ協会や市文化協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携しながら取組を進めます。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120132

中学校部活動支援事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

小事業名	中学校教科書・指導書・副読本等購入事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	小中学校教育

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
17,828 千円	18,038 千円	98.8 %	292 円	一般財源 292 円	3,145 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	17,828千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 教科書の改訂年度に当たるため、教師用教科書・指導書について必要数の購入を行いました。

生徒が使用する補助教材の一部を購入しました。「中学生の読書」及び「中学生の安全」については、クラスに備え付けの学級文庫として不足分を購入しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	補助教材	4,879,086円
	教師用教科書	112,846円
	教師用指導書	12,355,200円
使用料	学習者用デジタル教科書使用料	481,250円

2 事業の成果

学習指導案の作成や教科研究に指導書を活用することで、より効果的な教科学習指導を行うことができました。

補助教材を活用して、国語(ことばのきまり)、数学(数学の友)、保健体育(保健体育ノート)及び書写(かきぞめ手本)の基礎・基本を学ぶことができました。

「明るい人生」は道徳の授業に、「中学生の安全」は安全学習に、「中学生の読書」は毎日の朝の読書で活用されました。

文部科学省の学習者デジタル教科書実証事業により半数の中学校に提供されている学習者用デジタル教科書を、残り半数の中学校も使用できるように整備し、学習機会を均等化することができました。

なお、教師用教科書・指導書については、次回の改訂年度までは不足分のみ購入します。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120136

中学校教科書・指導書・副読本等購入事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

小事業名	友好都市中学生派遣事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	多文化共生

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
10,813 千円	10,922 千円	99.0 %	177 円	一般財源 60 円	10,683 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	7,136千円	3,677千円

1 事業内容

(1) 市内全中学校の2年生を対象に募集を行い、16人の生徒を選考し、友好都市であるインディアナ州コロンバス市に派遣しました。

期 日	内 容
6月8日(日)	友好都市中学生派遣団説明会
6月8日(日) 7月19日(土) 7月30日(水) 8月6日(水) 8月18日(月)	事前研修会(計5回) ・語学研修(英語) ・研究テーマの作成と進め方 ・マナー研修
8月18日(月)	友好都市中学生派遣団結団式
8月20日(水) ～8月28日(木)	友好都市中学生派遣(コロンバス市) 9日間
9月16日(火)	友好都市中学生派遣団解団式

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	国際交流事業補助金 [交付先]友好都市中学生派遣団	10,109,705円

2 事業の成果

「21世紀の教育提携書」に基づき、友好都市であるコロンバス市と親善及び交流を深めるための事業であり、派遣された生徒が現地の学校を訪問したり、ホストファミリーと触れ合ったりすることで、交流を深めることができ、お互いの文化の違いを実感することができました。一人一人が研究テーマを持ち、派遣事業を通して調べたことをまとめ、各校の仲間に伝えることができました。

また、生徒は派遣での経験から、英語を学習することの大切さを肌で感じたことで、帰国後には、英語学習やコミュニケーション能力をさらに高めようとする意欲が高まりました。

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	130404

友好都市中学生派遣事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 学校建設費
小事業名	**中学校施設整備事業(繰越明許費を含む)**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 小中学校教育				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
703,821 千円	885,648 千円	79.5 %	11,521 円	一般財源 7,838 円	513,833 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	48,176千円	0千円	176,800千円	0千円	0千円	0千円	478,845千円

1 事業内容 **【拡充・重点施策】**

(1) 安心、安全で快適な学習環境を整備するため、中学校施設に必要な改修工事等を実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	パイプ椅子	1,939,520円
委託料	南中学校備品移動業務委託	1,265,000円
	南中学校武道場倉庫内物品運搬処分業務委託	188,100円
	南中学校大規模改修(3期)工事監理業務委託	11,440,000円
工事請負費	北中学校受変電設備改修工事	31,394,000円
	小中学校防犯カメラ設置工事(中学校分)	22,015,275円
	南中学校大規模改修(3期)建築工事【繰越明許費】	524,097,200円
	南中学校大規模改修(3期)管工事【繰越明許費】	80,987,500円
	南中学校大規模改修(3期)電気工事【繰越明許費】	27,445,000円
備品購入費	体育用備品	453,750円

2 事業の成果

北中学校受変電設備改修工事では、老朽化した受変電設備を更新しました。

南中学校大規模改修(3期)事業では、屋内運動場、弓道場、グラウンド及び外構を対象に大規模改修することで老朽化した建物の長寿命化を図り、屋内運動場は大規模改修に併せてパイプ椅子の更新も行い、学校環境を良好な状態にできました。また、南中学校で利用する伸縮はしご、テニス審判台、サッカーゴールネットを購入しました。

小中学校防犯カメラ設置工事では、全12小中学校を対象に犯罪抑止のため校舎内の各階廊下及び外壁に防犯カメラを設置しました。





小中学校防犯カメラ設置工事

三好丘中学校カメラ設置状況(校舎4階廊下、屋内運動場1階軒裏)



南中学校大規模改修(3期)工事

屋内運動場大規模改修後外観

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120139

中学校施設整備事業(繰越明許費を含む)におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

小事業名	人件費
施策の体系	評価外
	評価外

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
184,701 千円	201,072 千円	91.9 %	3,011 円	一般財源 3,011 円	174,600 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	184,701千円

1 事業内容

区 分	人 数	事業費
一般職常勤職員	11人	104,873,672円
一般職再任用職員	2人	9,076,882円
会計年度任用職員	27人	70,750,043円

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	010117

人件費におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
小事業名	**社会教育委員会運営事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	青少年健全育成				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
470 千円	**506 千円**	**92.9 %**	**8 円**	**一般財源 8 円**	**300 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	470千円

1 事業内容 **【拡充】**

(1) 社会教育委員会を開催し、委員から社会教育諸事業に対する提言・助言をいただき、社会教育事業の推進を図りました。また、各種研修会に参加し、社会教育に関する理解を深めました。社会教育主事育成のため、毎年、東海4県の大学で順番に開催される社会主事講習に参加しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	社会教育委員報酬(10人)	350,000円
旅費	社会教育主事研修(三重大学)等	59,680円
消耗品費	全国社会教育委員連合機関誌等	20,570円
通行料	東海北陸社会教育研究大会通行料(岐阜県瑞穂市)	3,720円
負担金	県社会教育委員連絡協議会会費 [交付先]愛知県社会教育委員連絡協議会	12,000円
	県社会教育委員連絡協議会西三河支部会費 [交付先]愛知県社会教育委員連絡協議会西三河支部	2,500円
	東海北陸社会教育研究大会負担金 [交付先]岐阜県社会教育連絡協議会	18,000円

2 事業の成果

みよし市社会教育委員会を7月と3月に開催し、社会教育諸事業に対する提言・助言をいただきました。県内で開催された各種研修会や岐阜県で開催された東海北陸研究大会に参加し、社会教育への研鑽を重ねることで、本市の社会教育事業の推進を図りました。また、三重大学で開催された社会教育主事講習に参加し、職員1名が新たに社会教育主事の資格を取得しました。

3 その他

≪社会教育委員とは(あいちの社会教育委員ハンドブックより抜粋)≫

① 自分のまちの社会教育の実情を知り、地域住民と行政との間に立って、住民の声を行政に反映するという大切な立場です。

② 社会教育に関する計画の立案や研究調査などによって、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を果たしています。

③ 社会教育委員の会議に出席し、意見を述べます。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	120203

社会教育委員会運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 青少年教育費

小事業名	青少年補導員活動事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう
	青少年健全育成

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,020 千円	1,112 千円	91.7 %	17 円	一般財源 17 円	1,325 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,020千円

1 事業内容

(1) 社会全体の問題である青少年の健全育成を図るため、家庭、学校及び地域並びに関係団体と緊密な連携を取り、より積極的な健全育成及び保護育成活動を推進しました。

≪会議等開催実績≫

会議	開催実績
全体会議	4月、5月、7月、9月、10月、11月、12月、2月、3月
合同会議	6月、1月
ブロック会議	8月

≪地域補導活動実績≫

期日	内容	実施回数
随時	各地域での補導活動、青色回転灯付車両による公園等の巡回・走行中の啓発放送	901回

≪特別補導活動実績≫

期日	内容	出席者
8月2日(土)	三好池まつりでの補導活動	12人
8月23日(土)	いいじゃんまつりでの補導活動	15人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報償費	青少年補導員報償費	673,000円
負担金	豊田少年補導委員会負担金 [交付先]豊田少年補導委員会	286,000円

2 事業の成果

青少年補導員により、各地域での補導活動を実施し、青少年を非行や犯罪被害から未然に防ぐことができました。

また、三好池まつり及びいいじゃんまつりでは、三好高校の教員と合同で補導活動を行い、まつり終了後の速やかな帰宅を促し、青少年の健全育成を推進することができました。

作成課【こども未来部 こども政策課】	事務事業番号	120204

青少年補導員活動事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 青少年教育費
小事業名	**青少年健全育成推進協議会等事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	青少年健全育成				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
930 千円	**1,088 千円**	**85.5 %**	**15 円**	**一般財源 15 円**	**880 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	930千円

1 事業内容

(1)「地域ぐるみで推進しよう非行のないまちづくり」をスローガンとして、青少年の被害・非行防止と健全育成を図ることを目的に、市青少年健全育成主審協議会が各種事業を行いました。

また、三好高校健全育成連絡協議会及びみよし市スカウト活動団体に対し、補助金を交付しました。

≪青少年健全育成推進協議会事業実績≫

開催月	行事内容
5～9月	「少年の主張」校内大会
10月	「少年の主張」校内大会最優秀作品集発表
7月	「青少年の被害・非行防止に取り組む運動」街頭啓発
7月	青少年健全育成啓発ポスター優秀作品展示
9月	青少年によい本をすすめる運動
10月	「家庭の日」推進事業「家族へのメッセージ」募集
2月	「家庭の日」推進啓発資材配布、「家族へのメッセージ」優秀作品発表
3月	青少年健全育成啓発作品募集

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	青少年によい本をすすめる運動推薦図書	234,975円
	青少年被害・非行防止啓発資材	39,900円
	家庭の日推進事業啓発資材	182,600円
補助金	地区青少年健全育成推進協議会等活動費補助金 [交付先]三好高校健全育成連絡協議会	40,000円
	みよし市ボーイスカウト・ガールスカウト活動事業補助金 [交付先]市内スカウト3団体	193,500円

2 事業の成果

青少年健全育成推進団体や市内小中学校と連携を図り、啓発資材の配布、ポスター展示及び各種事業の優秀作品の発表を行い、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成を推進することができました。

作成課【こども未来部 こども政策課】	事務事業番号	120206

青少年健全育成推進協議会等事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 青少年教育費

小事業名	20歳の集い事業
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう 青少年健全育成

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
2,600 千円	2,999 千円	86.7 %	43 円	一般財源 43 円	2,672 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,600千円

1 事業内容

(1) 20歳を迎えたみよし市の青年が、大人になることの自覚を深め、成人として力強く生きていくように激励するため、「成人の日」を記念し、みよし市20歳の集いを開催しました。

20歳になる青年で構成する20歳の集い実行委員会により、式典の企画・運営及び式典の在り方や、コストの軽減も含めて検討を行いました。

期日	会場	対象者数	出席者数	出席率
1月11日(日)	カネヨシプレイス	756 人	546 人	72.2%

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	みよし市20歳の集い実行委員会補助金 [交付先]みよし市20歳の集い実行委員会	2,599,925円

2 事業の成果

20歳の集い実行委員会の企画・運営により、式典を開催しました。

式典の開催に当たっては、コロナ禍以前の方式に戻し、市内4中学校合同の1部制で行いました。式典の司会や国歌斉唱の際の伴奏等は、実行委員会の委員が行い、20歳になる青年に社会の一員としての自覚を促すことができました。



令和8年みよし市20歳の集い(1月11日(日))
会場:カネヨシプレイス

作成課【教育部 学校教育課】	事務事業番号	120207

20歳の集い事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 青少年教育費
小事業名	**地域学校活動推進事業**				
施策の体系	心豊かな子どもを育てよう				
	青少年健全育成				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
46,546 千円	48,394 千円	96.2 %	762 円	一般財源 601 円	46,597 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	4,922千円	4,923千円	0千円	0千円	0千円	0千円	36,701千円

1 事業内容

(1) 地域学校協働活動事業、放課後こども教室開催事業及びみよし未来塾推進事業を実施しました。

① 地域学校協働活動事業

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を展開しました。

② 放課後こども教室開催事業

児童に学習・運動・交流・体験の場を提供し、地域社会の中でこどもたちの安全で安心な居場所づくりを推進するとともに、次世代を担う人材を育成するため、市内全小学校で放課後こども教室を開所しました。

③ みよし未来塾推進事業

学習に遅れを感じている中高生を対象に、学習の場を提供し、学習支援員によるサポートを行いました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
報償費	地域学校協働活動推進員謝礼	1,327,200円
消耗品費	みよし未来塾事務用品	12,038円
委託料	放課後こども教室運営業務委託	43,692,000円
	放課後こども教室スポーツプログラム運営業務委託	1,100,825円

2 事業の成果

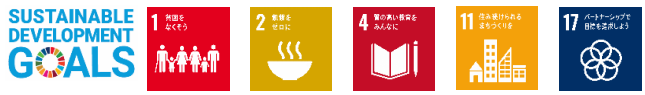
令和7年度から市内小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働活動を推進しました。

放課後こども教室では、年に2回スポーツプログラムを実施しました。バスケットボール及びサッカーを実施し、バスケットボールは9月に、サッカーは2月に開催された市内の大会に出場しました。また、プログラムの講師として地域の方に御協力いただき、カローリングやボッチャ、製作遊び等様々な体験をすることができました。また、トヨタ自動車株式会社、株式会社三五等の企業や東海学園大学、愛知教育大学及び三好高等学校の学生にも講師やボランティアとして御協力いただきました。

みよし未来塾を夏休み期間中に12日間、冬休み期間中に3日間、市民活動センター及びおかよし交流センターで実施しました。夏季は41人、冬季は28人が参加し、自主学習したり、学習支援員からアドバイスを受けたりしました。

作成課【教育部　学校教育課】	事務事業番号	120208

地域学校活動推進事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 公民館費

小事業名	地区公民館運営費・文化活動補助事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,313 千円	3,569 千円	92.8 %	54 円	一般財源 54 円	5,575 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,313千円

1 事業内容

(1) 地区公民館の管理運営に必要な経費(光熱水費、消耗品費、修繕費、工事請負費等)の一部を補助することにより、地区生涯学習の拠点施設としての地区公民館の維持管理を行いました。

≪公民館利用状況≫

公民館名	利用人数	公民館名	利用人数	
三好上公民館	2,620人	打越公民館	7,097人	
三好下公民館	6,132人	蔀生公民館	6,755人	
明知上公民館	2,670人	黒笹公民館	9,705人	合　計
明知下公民館	7,742人	高嶺公民館	6,037人	48,758人

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
補助金	地区公民館管理運営事業補助金 [交付先]行政区(三好上、三好下、明知上、明知下、打越、蔀生、黒笹、三好丘緑)	2,351,100円
	地区公民館管理運営事業補助金(環境整備事業) 明知上公民館誘導灯器具取替修繕工事 [交付先]明知上行政区	180,000円

2 事業の成果

行政区要望に基づき、明知上公民館の誘導灯器具取替修繕工事を行いました。これにより、明知上公民館利用者が快適に利用できるようになりました。





誘導灯器具取替修繕工事(明知上公民館)

作成課【教育部　生涯学習推進課】	事務事業番号	130103

地区公民館運営費・文化活動補助事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費
小事業名	**図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業**				
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
	生涯学習				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
21,869 千円	**24,453 千円**	**89.4 %**	**358 円**	**一般財源 358 円**	**23,760 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	21,869千円

1 事業内容

(1) 多様な利用者ニーズに応えられるように、図書館資料の充実を図りました。

≪中央図書館蔵書構成≫

区分		受入数			年度末蔵書数	構成比
		購入	寄贈	合計		
一般	一般図書	4,188冊	165冊	4,353冊	156,177冊	48.46%
	郷土資料	6冊	164冊	170冊	10,799冊	3.35%
	小計	4,194冊	329冊	4,523冊	166,976冊	51.82%
児童	児童図書	1,027冊	28冊	1,055冊	39,620冊	12.29%
	絵本	1,572冊	44冊	1,616冊	31,778冊	9.86%
	紙芝居	40冊	1冊	41冊	2,149冊	0.67%
	小計	2,639冊	73冊	2,712冊	73,547冊	22.82%
ティーンズ		257冊	3冊	260冊	10,926冊	3.39%
石川文庫		0冊	0冊	0冊	42,660冊	13.24%
図書合計		7,090冊	405冊	7,495冊	294,109冊	91.27%
新聞縮刷版		17冊	0冊	17冊	1,165冊	0.36%
雑誌		2,785冊	457冊	3,242冊	13,916冊	4.32%
点字		0冊	4冊	4冊	228冊	0.07%
学校支援図書		296冊	0冊	296冊	5,693冊	1.77%
DVD等		149冊	8冊	157冊	7,138冊	2.21%
総合計		10,337冊	874冊	11,211冊	322,249冊	100.00%

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
消耗品費	逐次刊行物(雑誌・新聞等)	4,166,412円
通信運搬費	民間有料データベース(新聞・官報等情報検索サービス使用料)	356,400円
備品購入費	図書、CD、DVD	17,345,772円

2 事業の成果

多様なニーズに応えるため、文芸書から専門的な技術書まで幅広いジャンルの図書を計画的に購入しました。また、図書以外にも雑誌、新聞、新聞記事等のデータベースサービスを整備しました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130105

図書、逐次刊行物（新聞・雑誌等）等整備事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費

小事業名	図書館奉仕（図書の貸出等）事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
801 千円	852 千円	94.0 %	13 円	一般財源 13 円	831 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	801千円

1 事業内容

(1) 図書の貸出し等の業務を行いました。愛知県や三河地域の各公立図書館との情報交換、研修等に参加し、本市の図書館の利便性や市民サービスの向上に役立てました。

≪入館者数等≫

	中央図書館		サンネット	
	年間	1日平均	年間	1日平均
開館日数	288日	—	306日	—
入館者数	186,176人	646.4人	—	—
新規登録者数	1,166人	4.0人	170人	0.6人
登録者総数	25,593人	—	—	—
レファレンス件数	1,910件	6.6件	203件	0.7件

≪貸出人数等≫

	中央図書館	サンネット
貸出人数	158,588人	22,307人
貸出冊数	459,699冊	69,267冊

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
旅費	西三河公立図書館視察研修会旅費等	29,520円
消耗品費	図書ラベル、ブックカバー、ブックエンド等	627,975円
印刷製本費	チラシ印刷	80,960円
負担金	日本図書館協会負担金 [交付先]日本図書館協会	50,000円
	愛知県図書館協会負担金 [交付先]愛知県図書館協会	8,500円
	愛知県公立図書館長協議会負担金 [交付先]愛知県公立図書館長協議会	4,200円

2 事業の成果

近年、図書館への来館者が増加傾向にあり、本を借りるだけではなく、館内で本を読む人、レファレンスサービスを活用する人及び新聞・雑誌やAV資料を見て過ごす人が増加しました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130106

図書館奉仕（図書の貸出等）事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費

小事業名	読書啓発事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
891 千円	902 千円	98.8 %	15 円	一般財源 15 円	872 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	891千円

1 事業内容

(1) 図書館支援活動を推進し、図書館支援団体と協働で活動を行いました。図書館支援団体の育成・活動支援、読書講演会、本のポップ展等の開催、学校での読み聞かせ活動支援等を行いました。

≪主な読書啓発事業≫

事業名	内　容
本のポップ展	市内在学の小中高生から本のポップを募集し、合計394点の作品応募がありました。全ての作品を図書館内に展示しました。
読書啓発講演会	講師を招いて読書啓発につながる講演会を行いました。1年間で10回の読書啓発講演会・イベント等を実施し、延べ522人が参加しました。
おはなし会	図書館児童室で、図書館支援団体によるおはなし会を毎週水曜日・日曜日と第2・4土曜日に定期開催しました。
施設見学	小学生の図書館見学の受け入れを行いました。申し込みのあった市内の小学校3校の3年生を対象に実施しました。
本の頒布会	図書館での利用が終わったリサイクル本の頒布会を7月のサンライブまつりにて開催しました。
こども一日司書体験	夏休み中の児童を対象に、図書館司書の体験会を開催しました。小学4・5・6年生の合計18人が参加しました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
報償費	読書講演会等講師謝礼	529,000円
消耗品費	本のポップ展記念品代、こども読書活動等消耗品等	130,174円
印刷製本費	読書啓発事業講座チラシ・ポスター等	232,218円

2 事業の成果

今年度で第2回目となる「本のポップ展」には、合計394点もの作品が集まり、サンライブ1階ギャラリーを賑やかに飾ることができました。作品を作った児童生徒とその保護者だけではなく、ポップ展を目的に来館する人もおり、図書館に足を運ぶきっかけを作ることができました。また、読書啓発講演会には、市内外から多くの人に参加してもらうことができました。

作成課【教育部　生涯学習推進課】	事務事業番号	130107

読書啓発事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費
小事業名	**図書館電算事業**				
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
	生涯学習				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
21,197 千円	**21,954 千円**	**96.6 %**	**347 円**	**一般財源 331 円**	**75,522 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	20,197千円

1 事業内容

(1) 図書館資料の蔵書検索、貸出し等の図書館サービスを利用者に提供できるように、図書館の電算システム機器の維持管理を行いました。また、電子図書館サービスを継続して提供しました。

≪システム利用実績≫

	貸出人数	貸出冊数
合 計	158,588人	459,699冊
うち自動貸出機	59,273人	281,593冊
自動貸出機率	37.4%	61.3%

≪電子図書館システム利用実績≫

	年度末実績
蔵書冊数	2,306冊
貸出冊数	9,288冊
利用人数	2,564人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	ICタグ、図書のバーコード、レシートロール等	696,917円
印刷製本費	バーコード型ICタグ	346,500円
委託料	図書館システム一式保守業務委託	11,906,400円
	書誌情報作成等業務委託	1,687,912円
使用料	電子図書館システム使用料、電子書籍ライセンス料、雑誌マーク使用料等	6,234,065円

2 事業の成果

資料や利用者の管理を効率化するため、図書館システムによるICタグを利用した自動貸出機や自動仕分機を用いることで、窓口での貸出・返却時間が短縮し、市民サービスの向上を図ることができました。また、電子書籍を計画的に購入し、電子図書館サービスの充実を図りました。令和7年度から学習用タブレットでの電子図書館の利用を開始したことで、貸出冊数・利用人数ともに大幅に増加しました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130108

図書館電算事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費

小事業名	図書館協議会運営事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
97 千円	98 千円	99.0 %	2 円	一般財源 2 円	70 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	97千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 図書館の運営に関し、館長の諮問に応じて図書館事業や計画について意見を募る図書館協議会を6月及び3月に開催しました。

≪図書館協議会委員構成≫

職 名	人数
学識経験者又は実務経験者	3人
社会教育委員代表	1人
幼稚園代表	1人
子育て支援センター代表	1人
学校教育課指導主事	1人
計	7人

≪主な活動内容≫

○図書館協議会(年2回)

図書館協議会を開催し、図書館の事業や計画、図書館の運営等について協議し、図書館をより良くするための意見等を募ります。

○先進図書館視察研修(隔年開催)

先進的な取組を行う公立図書館を視察し、本市の図書館運営の改善に活かします。令和7年度は、11月に岐阜市立中央図書館を視察しました(次回は、令和9年度実施予定)。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	図書館協議会委員報酬(5人)	91,000円
旅費	図書館協議会先進図書館視察研修	2,200円
使用料	図書館協議会先進図書館視察研修通行料	3,460円

2 事業の成果

図書館事業や計画について意見を募る図書館協議会を6月及び3月に開催し、それぞれの立場から図書館に関する貴重な意見をいただき、図書館運営の改善につなげることができました。また、11月には、「ライブラリーオブザイヤー」の大賞を受賞している「みんなの森 ぎふメディアコスモス」にある岐阜市立中央図書館を視察し、図書館サービスや学習スペースの運用等について見識を深めることができました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130109

図書館協議会運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 図書館費

小事業名	市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,580 千円	3,641 千円	98.3 %	59 円	一般財源 59 円	3,537 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,580千円

1 事業内容

(1) カリヨンハウス内にある市民情報サービスセンター「サンネット」を北部地域の図書館サービスの拠点として、中央図書館と連携を図りながら、図書館サービスを行いました。

≪サンネット蔵書構成≫

区分		受入数			年度末蔵書数	構成比
		購入	寄贈	合計		
一般	一般図書	489冊	38冊	527冊	7,731冊	48.99%
	郷土資料	0冊	1冊	1冊	6冊	0.04%
	小計	489冊	39冊	528冊	7,737冊	49.02%
児童	児童図書	188冊	2冊	190冊	3,401冊	21.55%
	絵本	288冊	2冊	290冊	4,251冊	26.94%
	小計	476冊	4冊	480冊	7,652冊	48.49%
図書合計		965冊	43冊	1,008冊	15,389冊	97.51%
その他資料		77冊	12冊	89冊	393冊	2.49%
総合計		1,042冊	55冊	1,097冊	15,782冊	100.00%

≪サンネット貸出状況≫

区分	貸出人数			貸出冊数		
	一般	児童	合計	一般	児童	合計
窓口	14,807人	1,274人	16,081人	40,395冊	5,231冊	45,626冊
自動貸出機	5,343人	883人	6,226人	19,416冊	4,225冊	23,641冊
合計	20,150人	2,157人	22,307人	59,811冊	9,456冊	69,267冊

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	図書運搬業務委託	1,809,192円
備品購入費	図書(1,042冊)	1,630,179円

2 事業の成果

中央図書館とサンネット図書コーナー間での図書運搬を業務委託し、中央図書館とサンネットの図書の相互利用を図ることができました。また、サンネット図書コーナーでは、自動貸出機により、利用者の利便性の向上を図りました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130110

市民情報サービスセンター図書コーナー整備事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 家庭教育費

小事業名	家庭教育推進事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう
	家庭教育

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
602 千円	674 千円	89.3 %	10 円	一般財源 10 円	580 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	602千円

1 事業内容 **【重点施策】**

(1) 保護者への家庭教育の学習機会の提供を行い、また、地域でこどもを育てる環境作り及びPTAの資質向上に努めました。

① 家庭教育学級開催事業

家庭教育の基礎となる保護者に対し、家庭教育に関する情報と学習機会を計画的・継続的に提供し、家庭教育力の向上を図りました。

② 思春期家庭教育講座開催事業

市内中学校において、子育てへの悩みや不安を持つ親に対し、子育て講座を開催しました。

③ ふれあいトライアングル推進事業

家庭・地域・学校の3者が連携して家庭教育を推進しました。

④ 小中学校PTA連絡協議会

市内小中学校PTA相互の情報交換のため、市小中学校PTA連絡協議会を設置し、その運営を支援しました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
報償費	講師謝礼(家庭教育学級・思春期家庭教育講座)	138,000円
補助金	ふれあいトライアングル推進事業補助金 [交付先]市内8小学校区家庭教育推進協議会	320,000円
	小中学校PTA連絡協議会補助金 [交付先]市小中学校PTA連絡協議会	144,000円

2 事業の成果

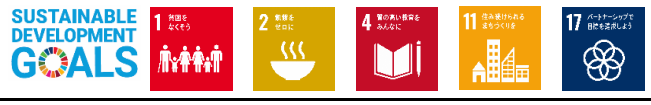
家庭教育学級及び思春期家庭教育講座を開催し、家庭教育に関する情報と学習機会を提供し、家庭教育力の向上を図りました。

ふれあいトライアングル推進事業に当たっては、家庭・地域・学校が連携して家庭教育を推進することができるよう支援しました。

市内小中学校PTAを対象とした情報交換会を行い、各学校PTA同士の情報共有を図るとともに、活動に対する支援を行いました。

作成課【教育部　学校教育課】	事務事業番号	110204

家庭教育推進事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	文化財保護委員会運営事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
91 千円	214 千円	42.5 %	1 円	一般財源 1 円	138 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	91千円

1 事業内容

(1) 文化財保護委員会は、みよし市文化財保護条例に基づいて設置され、地域の歴史や文化に詳しい方や歴史学、考古学、民俗学等の専門知識を有する方で構成されており、市内の文化財の中でも特に貴重なものについて、指定を含めた保護の在り方等を協議し、教育委員会に意見を述べる役割を担っています。

令和7年度は、会議及び先進事例調査研修をそれぞれ1回ずつ開催しました。

期 日	内 容	出席委員
4月22日(火)	文化財保護委員会	5人
2月20日(金)	文化財保護委員会先進事例調査研修(県内)	5人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	文化財保護委員報酬(6人)	70,000円

2 事業の成果

文化財保護委員会を開催し、令和7年度事業概要及び事業計画について協議し、令和6年度歴史民俗資料館利用状況等について報告を行いました。協議結果を受け、文化財の保護や活用に取り組みました。

また、先進事例調査研修を実施し、豊田市の博物館や城跡に赴き、博物館の展示事業及び管理運営の状況や史跡の整備及び管理の状況を視察しました。本研修で得た知見を、本市の資料館運営及び文化財の保存と活用等に係る審議や協議の参考として活用していきます。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130204

文化財保護委員会運営事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	有形文化財保存活動支援事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
5,740 千円	5,894 千円	97.4 %	94 円	一般財源 94 円	930 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	5,740千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 市内には、4件の市指定有形文化財があります。そのうちの三好上区山車及び三好下区山車の保存・維持活動及び劣化した車輪の更新に対し、申請に基づいて補助金等を交付しました。また、市内に所在する酒井家住宅について、建築を専門とする大学教員による建物調査を実施しました。

そのほか、市内に所在し、本市の歴史や文化を今に伝える有形文化財についても、その保存や維持に対して各種支援を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
印刷製本費	古文書整理用封筒印刷	330,000円
委託料	建物調査業務委託	300,000円
補助金	市指定文化財保存維持活動事業補助金 [交付先]三好上山車保存会、三好下山車保存会	900,000円
交付金	みよし市指定有形文化財活用交付金 [交付先]三好上山車保存会、三好下山車保存会	4,180,000円

2 事業の成果

三好上区山車と三好下区山車の保存・維持のため、両保存会に対し、申請に基づいて補助金を交付し、文化財の保存・維持活動を支援しました。

三好上区山車と三好下区山車の車輪更新のため、交付金を交付し、良好な状態で引き回し等の活用が可能となるように支援しました。

専門家による酒井家住宅の建物調査を実施し、現状の記録保存をするとともに、国の文化財への登録準備を行いました。

これらによって、有形文化財をより良い状態で後世へ伝えていくことができるようになりました。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130205

有形文化財保存活動支援事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	郷土芸能保存活動支援事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
512 千円	560 千円	91.4 %	8 円	一般財源 8 円	539 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	512千円

1 事業内容

(1) 本市の各地区に古くから伝わるお囃子、棒の手等の郷土芸能の伝承活動に対し、保存団体からの申請に基づいて補助金を交付しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	郷土芸能伝承活動事業補助金 [交付先]囃子6団体、棒の手1団体	511,923円

2 事業の成果

7つの保存団体からの申請に基づいて補助金を交付しました。これにより、地域に伝わる郷土芸能を後世に伝えていくための活動を支援することができました。



お囃子
みよし市ホームページより



棒の手
みよし市ホームページより

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130206

郷土芸能保存活動支援事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	郷土芸能伝承活動発表会開催事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
417 千円	421 千円	99.0 %	7 円	一般財源 7 円	462 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	417千円

1 事業内容

(1) 市内に伝わっているお囃子や棒の手、巫女舞、和太鼓等の郷土芸能への関心と伝承活動への理解を深めてもらうと同時に、伝承活動を行う保存団体の励みとするために発表会を開催しました。

期 日	内 容	参加者・参観者数
9月14日(日)	みよし市郷土芸能伝承活動発表会	700人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	発表会出演団体・司会者謝礼	245,000円
印刷製本費	ポスター・チラシ・参加団体練習状況紹介写真等	72,501円
使用料	会場・資機材使用料	96,880円

2 事業の成果

9月14日(日)にカネヨシプレイス大ホールにて、延べ12団体がそれぞれ伝承している郷土芸能を発表し、市民はじめ、多くの人たちに郷土芸能を知ってもらいました。



お囃子(明知下)



お囃子(福田)



巫女舞(打越)



棒の手

郷土芸能伝承活動発表会風景(令和7年度)

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130207

郷土芸能伝承活動発表会開催事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	文化財環境保全事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
774 千円	775 千円	99.9 %	13 円	一般財源 13 円	348 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	774千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 本市の歴史や文化を今に伝える貴重な資料である歴史民俗資料館収蔵資料や市指定有形文化財のうち、紙、木、布等でできている資料は、それらの材質を好んで食べる害虫による被害にあうリスクがあります。

そのような害虫による被害を最小限に食い止めるため、歴史民俗資料館本館、木造棟及び収蔵庫、指定文化財である石川家住宅や金比羅宮、同じく指定文化財である三好上区及び三好下区山車の保管庫の害虫調査を実施しました。また、隔年で実施している新規受入れ資料のくん蒸を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	文化財害虫調査業務委託	297,000円
	文化財くん蒸業務委託	477,400円

2 事業の成果

害虫による被害を最小限に食い止めるため、歴史民俗資料館本館、木造棟及び収蔵庫、指定文化財である石川家住宅や金比羅宮の害虫調査を実施し、早急な駆除が必要な状態にまでは至っていないことを確認しました。また、新規受入れ資料をくん蒸し、受入れの際に付着していた可能性のある害虫及びその卵を駆除することによって、貴重な資料を良好な状態で保存することができました。



害虫調査風景(トラップ設置)



くん蒸風景(投薬作業)
(文化財くん蒸業務委託報告書より)

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130208

文化財環境保全事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	史跡整備管理事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,967 千円	2,012 千円	97.8 %	32 円	一般財源 32 円	1,831 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,967千円

1 事業内容

(1) 福谷城、黒笹27号窯跡及び90号窯跡は、本市の歴史と文化を物語る貴重な歴史遺産であり、所有者から土地を借用する等した上で一般公開して、いつでも誰でも観られるようにしていることから、定期的な草刈り、雑木伐採等の管理を適正に実施することにより、史跡環境を維持保全しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	史跡保存指導謝礼	100,000円
委託料	史跡管理業務委託	377,332円
賃借料	福谷城跡用地借上料	1,462,566円

2 事業の成果

草刈り等を行い、適正な管理を実施したことにより、現在まで伝わる貴重な史跡である福谷城跡、黒笹27号及び90号窯跡を、本市の歴史や文化を体感することができるように保存・維持しつつ、快適に見学できる環境を整えることができました。

福谷城跡については、城郭を専門に研究している大学教員による現地調査を実施し、今後の保存や活用についての専門的知見を得ることができました。





福谷城跡現地調査風景

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130209

史跡整備管理事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化財保護費

小事業名	埋蔵文化財保存事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
7,521 千円	8,088 千円	93.0 %	123 円	一般財源 66 円	7,040 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	3,466千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,055千円

1 事業内容

(1) 埋蔵文化財(遺跡)は、地中に埋まった状態での現状保存が原則ですが、開発事業に伴いやむを得ず失われる場合は、文化財保護法に基づき発掘調査等を実施し、記録保存しなければなりません。

開発がある場合は、事業者から予定区域の埋蔵文化財の有無について照会をしてもらい、過去の調査等で判明している遺跡の範囲内や範囲外であっても遺跡に近接しており、遺跡が所在する可能性があると判断された場合は、試掘調査を行います。

試掘調査で埋蔵文化財が所在することが確認され、かつ、開発によりその埋蔵文化財が失われる場合は、発掘調査を実施して土器等の遺物を掘り出し、発掘現場の測量や撮影を行い、図面と写真により遺跡を記録保存しました。

期日	内容	件数
4月1日(火) ～3月5日(木)	試掘調査や個人住宅等小規模な開発によって失われる埋蔵文化財の発掘調査	25件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	市内遺跡緊急調査業務委託	5,608,911円
使用料	発掘調査資機材使用料	1,143,670円

2 事業の成果

試掘調査及び発掘調査を25件実施しました。

本市では、人々は古くから同じ場所に集落を設けて暮らしており、そのため近年増加している、昔から人々が暮らしている地域内における既存家屋の建替え等に伴う発掘調査では、中世から近世にかけての人々の生活の痕跡が確認されており、多くの発見がありました。

調査で新たに得られた成果は、本市の歴史研究を行う上での基礎資料となります。掘り出された遺物等は、洗浄、マーキング、実測等の整理作業を経ることにより、資料として利用することができるようになり、発掘の際に記録された事柄と併せて、報告書を刊行する等して広く周知しました。

また、数年分の発掘調査による成果を広く市民に知ってもらうための取組である、発掘調査速報展を開催したり、小学校等へ出張授業を行ったりと、様々な場面での活用を図りました。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130210

埋蔵文化財保存事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費
小事業名	**資料館施設管理事業**				
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
	文化・芸術				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
6,097 千円	**6,629 千円**	**92.0 %**	**100 円**	**一般財源 100 円**	**38,442 千円**

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6千円	6,091千円

1 事業内容

(1) 歴史民俗資料館本館、木造棟及び収蔵庫の施設環境を維持することにより、歴史民俗資料館利用者の安全性と快適性を確保するとともに、各施設内の収蔵資料の適正な保存に取り組みました。

開館日数	入館者数	1日平均
306日	3,818人	12.5人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	1,931,612円
委託料	本館空調設備保守点検業務委託	418,000円
	花壇管理業務委託	217,800円
	収蔵庫樹木剪定・草刈業務委託	155,060円
	本館清掃業務委託	275,000円
	本館トイレ清掃業務委託	173,800円
	本館警備業務委託	570,240円
	本館受付派遣業務	687,350円
	収蔵庫警備業務委託	299,640円

2 事業の成果

市民共有の財産である館蔵資料を災害、盗難等による被害から守り、後世に残すため、また、歴史民俗資料館の利用者が、地域の歴史、伝統及び文化に関する学習を快適にできるようにするため、歴史民俗資料館及び収蔵庫を適正に維持管理することができました。

歴史民俗資料館本館、木造棟及び収蔵庫のいずれも、建築から相当の年数が経過しており、公共施設等総合管理計画の方針、資料館在り方検討会の提言等を踏まえ、歴史民俗資料館の将来構想について検討していきます。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130212

資料館施設管理事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費

小事業名	資料館展示事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
5,171 千円	5,415 千円	95.5 %	85 円	一般財源 83 円	3,370 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	116千円	5,055千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 常設展示のほか、季節ごとに特別展及び企画展を開催しました。また、地域の歴史を体感できる各種体験イベントを実施しました。

展示会名	会期	開催日数	来場者	1日平均
企画展 みよしと昭和	4月26日(土) ～6月22日(日)	50日	790人	15.8人
企画展 発掘！発見！！みよしの近世・近代遺跡	7月19日(土) ～9月15日(月・祝)	51日	521人	10.2人
特別展 「福田の眼科医」酒井家10代 酒井利亮	10月11日(土) ～12月7日(日)	50日	517人	10.3人
企画展 第44回ひな人形展	1月17日(土) ～3月15日(日)	50日	1,656人	33.1人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報償費	体験講座、出張授業等講師謝礼	121,000円
印刷製本費	ポスター、チラシ、パンフレット、図録等作成	1,421,934円
通信運搬費	文化財運搬(梱包・展示・撤収)作業	1,320,000円
委託料	展示企画業務委託(年4回開催)	1,595,000円
	灰釉陶器づくり体験焼成業務委託	341,000円

2 事業の成果

考古、歴史、民俗といった幅広い分野のテーマで、特別展1回及び企画展3回を開催しました。各展示会では、所蔵資料のほか、県内外の博物館や個人等からその所蔵品を借用する等して、多様な資料を展示紹介することによって、市内外の人々に本市の歴史や文化を知ってもらうことができました。同時にチラシやパンフレット等の解説資料を作成し、観覧者の理解をより深めることができました。

また、石器づくり体験、土器型クッキーづくり体験のほか、小学校等を対象とした灰釉陶器づくり体験を行う出張授業、展示会に合わせた他施設とのスタンプラリー、市内外の文化財に触れる文化財巡り等の各種体験イベントを行い、本市の歴史や文化を体験してもらうことができました。

今後も魅力的なテーマで質の高い資料を集めた展示や各種イベントを開催することにより、市の歴史と文化について発信していくとともに、市民に地域への理解と愛着を持ってもらうことが求められています。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130213

資料館展示事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費

小事業名	資料館資料整理事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,011 千円	3,130 千円	96.2 %	49 円	一般財源 49 円	2,612 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,011千円

1 事業内容

(1) 収蔵資料は、地域の歴史や文化を物語る市民共有の文化的財産であり、長く後世に伝える必要があるため、これらを適正かつ確実に整理し、保存しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
印刷製本費	市内遺跡緊急調査報告書印刷	445,500円
	大坪遺跡発掘調査報告書印刷	217,800円
委託料	古文書等整理マイクロフィルム撮影業務委託	1,727,000円

2 事業の成果

発掘された土器等の出土品、寄贈された民具、古文書等は、整理することにより初めて展示や研究等に使用できるようになります。そのための整理作業は、分野によって手順や方法が異なるため、資料館職員の指導の下、職員や専門技術を有する業者等が収蔵資料の整理を行い、資料として活用できるようになりました。

また、古文書等の歴史資料、掛け軸等の美術工芸品といった収蔵資料をマイクロフィルム撮影及びデジタル撮影することにより、調査等を目的とした閲覧時に撮影画像を代用することで、原資料の劣化や破損を防ぐことができるようになりました。また、デジタル画像を作成したことにより、展示会に際して作成するポスターやチラシ、解説図録等に資料画像を容易に活用できるようになりました。

加えて令和5年度から6年度までにかけて実施したみよし市三好町に所在する大坪遺跡の発掘調査の結果や、それ以外に過年度に実施した発掘調査等の結果をそれぞれ報告書として刊行することにより、開発等で失われてしまった埋蔵文化財について記録することができ、市民をはじめ広く周知することができました。

これら各業務を実施することにより、歴史的かつ文化的に貴重な市民共有の財産である収蔵資料を適正に整理・保存することができました。

今後、これらの資料を展示や研究のみならず、学校等の授業の教材や猿投古窯研究会やみよし市郷土史研究会といった各種関係団体の活動等に活用することによって、資料の持つ雰囲気や質感等、実物でしか体感することのできない体験の機会を多く提供することで、市民をはじめとする多くの人たちに、市の歴史や文化についての理解をより深めてもらうことが求められています。

作成課【教育部 歴史民俗資料館】	事務事業番号	130214

資料館資料整理事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費

小事業名	石川家住宅管理事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,254 千円	4,258 千円	76.4 %	53 円	一般財源 53 円	3,590 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,254千円

1 事業内容

(1) 石川家住宅は、明治43年に建築された木造住宅で、平成23年8月に市の有形文化財に指定、同年11月に宅地、建物及び調度品が一括して市へ寄贈され、平成26年11月から一般公開しています。この文化財を長く後世に伝える必要があるため、建物、庭園、調度品等を適正かつ確実に管理保存しました。

開館日数	入館者数	1日平均
206日	3,629人	17.6人

イベント名	内　容	開催日	回　数	参加者数
歴史体感講座	石川家住宅の雰囲気を活かした、さまざまな種類の講座	4月1日(火) ～3月31日(火)	160回	789人
なつまつり	体感講座の作品展示のほか、懐かしい遊び体験等	7月19日(土)	1回	60人
クイズラリー	石川家住宅に関連したクイズラリー	3月7日(土)	1回	36人

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
報償費	講座講師謝礼	305,000円
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	197,142円
委託料	石川家住宅剪定業務委託	1,685,200円
	トイレ清掃業務委託	182,600円
	機械警備業務委託	113,520円
	ハクビシン防除業務委託	297,000円

2 事業の成果

市の指定文化財である建物及び庭園を保存し、適正に維持管理するとともに、建築当初の雰囲気を活かした歴史体感講座等を開催し、文化財として活用することにより、広く市民に石川家住宅を知ってもらうことができました。また、指定文化財である石川家住宅の建物に大きな被害を与えるおそれのあるハクビシン等の生息が確認されているため、防除業務を行い、特定外来生物であるアライグマを2匹捕獲しました。

今後の課題としては、現在8割程度の達成度である調度品整理の早期完了や築100年を超え、一部に傷みがみえる建物の定期的な補修が必要です。

なお現在、建物の修繕計画を作成しています。

作成課【教育部　歴史民俗資料館】	事務事業番号	130215

石川家住宅管理事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費

小事業名	勤労文化会館等維持管理事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
161,539 千円	161,625 千円	99.9 %	2,644 円	一般財源 2,538 円	175,358 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6,500千円	155,039千円

1 事業内容

(1) 市民の文化・芸術活動の拠点であるカネヨシプレイスを、指定管理者のもと適正に維持管理しました。

≪カネヨシプレイス年間利用状況≫

カネヨシプレイス		使用可能日数	使用日数	使用件数	入場者数
勤労文化会館	大ホール	286日	178日	188件	78,970人
	小ホール	297日	184日	213件	29,385人
	レセプションホール	307日	205日	226件	34,356人
	研修室	314日	270日	358件	19,093人
	和室	314日	83日	89件	1,106人
	軽運動室	312日	219日	273件	6,148人
	スタジオ	314日	147日	172件	979人
	特別会議室	314日	59日	61件	5,364人
	応接室	314日	57日	61件	3,413人
	市民広場	314日	58日	58件	14,046人
	その他(ロビー)	314日	314日	－	121,291人
	小 計	3,400日	1,774日	1,699件	314,151人
ふるさと会館	まつの間	314日	89日	92件	2,160人
	さつきの間	314日	69日	72件	2,008人
	大慈庵	314日	58日	60件	802人
	栄松軒	314日	15日	15件	139人
	小 計	1,256日	231日	239件	5,109人
合 計		4,656日	2,005日	1,938件	319,260人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	指定管理者選定委員会委員報酬(6人)	154,000円
委託料	勤労文化会館・ふるさと会館指定管理業務委託	160,600,000円
	経営分析業務委託	198,000円

2 事業の成果

カネヨシプレイスを地域住民等の文化芸術の拠点施設として、効果的及び効率的に管理運営することにより、地域の文化振興の増進を図ることができました。

令和8年4月1日から令和13年3月31日までのカネヨシプレイスの指定管理者を選定するための審査会を開催し、委員に報酬を支払いました。また、公募時に申請事業者による施設の管理運営計画、稼働率向上への方針、収支計画等のプレゼンテーション及び提出された財務諸資料の経営分析業務を委託し、指定管理者を選定しました。



ふるさと会館庭園コンサート
令和7年4月20日(日)



カネヨシプレイススプリングフェスタ
令和7年5月11日(日)



May J. Premiunm Live in みよし
令和7年6月15日(日)



坂東玉三郎～お話と素踊り～
令和7年9月13日(土)



カネヨシプレイスオータムフェスタ
令和7年10月26日(日)



季節のロビー企画　ハロウィン
令和7年10月8日(水)～10月31日(金)

指定管理者による自主文化事業

作成課【教育部　生涯学習推進課】	事務事業番号	130217

勤労文化会館等維持管理事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費

小事業名	芸術文化音楽推進事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
4,635 千円	5,090 千円	91.1 %	76 円	一般財源 64 円	2,497 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	710千円	3,925千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 市民参加型事業として、みよし音楽祭の事業をエフエムとよたに委託し、カネヨシプレイスで開催しました。

みよし少年少女合唱団に補助金を交付し、活動を支援しました。

また、市民の文化活動を支援するため、国際大会等出演者へ激励金を交付しました。

事業名	開催日	会 場	出演者数	入場者数
みよし音楽祭	12月7日(日)	カネヨシプレイス 大ホール、小ホール、ロビー	33団体(595人)	2,700人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	芸術文化国際大会等出場者激励金 (国際大会5件、全国大会25件)	500,000円
印刷製本費	みよし音楽祭のチラシ、プログラム等	128,083円
委託料	みよし音楽祭業務委託	2,134,000円
負担金	愛知県芸術劇場賛助金 [交付先]公益財団法人愛知県文化振興事業団	150,000円
補助金	みよし少年少女合唱団運営事業補助金 [交付先]みよし少年少女合唱団	1,120,000円

2 事業の成果

みよし音楽祭を開催し、市民が参加する団体、市内中学校吹奏楽部等、33団体が参加しました。音楽イベントに精通した業者へ業務委託することで円滑な事業を実施しました。音楽祭を通して、多様な音楽の情報交換の場を設けることができました。

みよし少女合唱団が友好都市である木曽町を訪問し、木曽福島文化祭に参加することで、木曽町との地域交流を行いました。





みよし音楽祭
令和7年12月7日(日)

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130218

芸術文化音楽推進事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費

小事業名	文化振興基金積立事務
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	文化・芸術

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
1,204 千円	1,205 千円	99.9 %	20 円	一般財源 － 円	6,367 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,204千円	0千円

1 事業内容

(1) 基金の運用に伴い生じた利子の積立てを行いました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
積立金	文化振興基金積立金利子	1,204,081円

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130281

文化振興基金積立事務におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
小事業名	**文化事業支援事業**				
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう				
	文化・芸術				

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
8,786 千円	8,786 千円	100 %	144 円	一般財源 127 円	8,482 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	1,000千円	0千円	0千円	0千円	0千円	7,786千円

1 事業内容

(1) 本市における文化・芸術活動の促進を図るため、文化展・文化祭等の事業を文化協会に委託しました。また、第30回みよし公募美術展においては、第30回の記念事業として、デッサン会を開催しました。

≪開催状況≫

事業名	開催日	会場	内容	参加者等
春の文化展	5月15日(木) ～5月18日(日)	カネヨシプレイス レセプションホール、研修室	展示作品発表	1,787人
	5月17日(土)	カネヨシプレイス 大ホール	芸能発表	550人
文化祭	10月30日(木) ～11月2日(日)	カネヨシプレイス レセプションホール、研修室	展示作品発表	1,587人
	10月30日(木) ～11月2日(日)	カネヨシプレイス	菊花展	
	11月1日(土)	カネヨシプレイス 大ホール	芸能発表	600人
	11月2日(日)	ふるさと会館	文化祭茶会	103人
公募美術展	2月4日(水) ～2月8日(日)	カネヨシプレイス レセプションホール、研修室	洋画、日本画、彫刻 写真、陶芸部門 応募162点 入選158点	1,815人
			デッサン会	56人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	文化事業委託(文化展・文化祭)	4,483,000円
	公募美術展委託	1,303,000円
補助金	みよし市文化協会事業補助金 [交付先]みよし市文化協会	3,000,000円

2 事業の成果

文化展・文化祭等の実施により、市民の文化・芸術への意識高揚を図るとともに、市民が文化事業に参加することで、文化芸術に対する関心が高まり、技能の向上を図ることができました。

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130282

文化事業支援事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 生涯学習推進費

小事業名	みよし悠学カレッジ講座運営事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
15,225 千円	15,766 千円	96.6 %	249 円	一般財源 128 円	14,733 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	7,420千円	7,805千円

1 事業内容

(1) 生涯学習機会の充実を図るため、住民からのニーズ等に対応した各種講座を開催しました。

≪講座内訳≫

区 分	講座数	開催回数	延べ受講者数
公開講座	2講座	2回	23人
生活創造講座	82講座	158回	2,028人
国際理解講座	41講座	312回	3,005人
情報・通信講座	45講座	236回	1,675人
合 計	170講座	708回	6,731人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	講師謝礼	7,956,000円
消耗品費	講座テキスト・教材費等	2,314,869円
委託料	受講者管理システム保守業務委託	299,640円
	講座用PCアップグレード業務委託	997,590円
	講座実施業務委託	2,915,000円

2 事業の成果

図書館学習交流プラザ「サンライブ」を中心に、「公開講座」「生活創造講座」「国際理解講座」「情報・通信講座」を年間170講座開催し、延べ6,731人が受講しました。おかよし交流センター及びみなよし交流センターでの講座を充実させることで、新規の受講者を増やすことができました。また、多様な生涯学習講座の開催を通じて、市民の教養及び生活文化の向上を図ることができました。

生涯学習講座受講者のデータを管理する受講者管理システムのサーバや端末の保守業務を行いました。また、サンライブPC講座室の受講者用パソコンのアップデートを行いました。



ブライアン先生のバレンタイン英会話 講座風景



かんたんふわふわシフォン 講座風景

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130111

みよし悠学カレッジ講座運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 生涯学習推進費

小事業名	図書館学習交流プラザ管理運営事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	生涯学習

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
261,305 千円	263,325 千円	99.2 %	4,277 円	一般財源 4,169 円	142,002 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	5,465千円	0千円	1,124千円	254,716千円

1 事業内容 【拡充】

(1)「図書館」「生涯学習」「貸館」機能を統合した図書館学習交流プラザ「サンライブ」の利用者が快く利用できるよう工夫・改善を重ね、施設運営及び維持管理を行いました。また、図書館学習交流プラザ「サンライブ」用の駐車場を拡大するため、駐車場整備用地を取得しました。

≪図書館学習交流プラザ「サンライブ」利用状況≫

貸館利用人数	64,929人
図書館入館者数	186,176人

(2) 主な執行経費

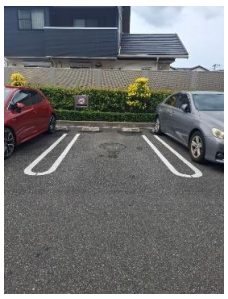
区 分	内 容	事業費
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	10,739,706円
修繕費	階段照明修繕、駐車場塗替え、自動ドア修繕等	1,421,100円
委託料	図書館学習交流プラザ総合維持管理業務委託	23,100,000円
	図書館窓口等管理運営業務委託	85,615,200円
	図書館学習交流プラザ受付案内派遣業務	6,225,450円
	常時清掃業務委託	9,821,900円
公有財産購入費	図書館学習交流プラザ「サンライブ」駐車場事業用地購入[2筆4名]	120,096,800円

2 事業の成果

サンライブを有効に活用することによって、生涯学習活動に取り組む市民の知識の習得及び学習意欲の向上を支援することができました。また、必要度の高い修繕等を行うことによって、市民が安全・安心に利用できる施設を維持することができました。さらに、利用者の利便性向上のため、不足している図書館学習交流プラザ「サンライブ」駐車場を拡大するための用地の取得を行いました。



階段照明修繕



駐車場塗り替え



自動ドア修繕

作成課【教育部 生涯学習推進課】	事務事業番号	130114

図書館学習交流プラザ管理運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	人件費
施策の体系	評価外
	評価外

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
133,424 千円	135,981 千円	98.1 %	2,175 円	一般財源 2,175 円	119,546 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	133,424千円

1 事業内容

区 分	人 数	事業費
一般職常勤職員	11人	91,894,342円
会計年度任用職員	17人	41,529,518円

作成課【教育部 スポーツ課】	事務事業番号	010118

人件費におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	友好都市小学生スポーツ交流事業
施策の体系	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
	広域交流

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
3,510 千円	3,539 千円	99.2 %	57 円	一般財源 57 円	5,525 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,510千円

1 事業内容

(1) 北海道士別市とのスポーツを通じた小学生交流事業として、サッカー交流団の派遣事業、野球交流団の派遣及び受入事業並びにバスケットボール交流団の受入事業を実施しました。

≪サッカー交流(派遣)≫

期日	内容	場所
8月1日(金) ～4日(月)	受入式、サフォークランド士別カップ少年サッカー大会出場、交流試合、社会見学	北海道士別市

≪野球交流(派遣)≫

期日	内容	場所
8月1日(金) ～4日(月)	対面式、合同練習、交流試合、交流会、社会見学、ホームステイ(1日(金)・2日(土))	北海道士別市

≪バスケットボール交流(受入)≫

期日	内容	場所
8月23日(土) ～25日(月)	歓迎式、交流試合、クリニック、表敬訪問、社会見学	みよし市

≪野球交流(受入)≫

期日	内容	場所
3月27日(金) ～30日(月)	歓迎式、交流試合、表敬訪問、社会見学、ホームステイ(27日(金)・28日(土))	みよし市

(2) 主な執行経費

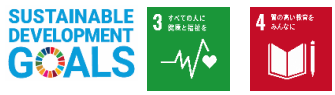
区分	内容	事業費
補助金	友好都市国内交流事業補助金	3,017,721円
	[交付先]みよし市少年スポーツ交流団(サッカー)	1,434,121円
	[交付先]みよし市少年スポーツ交流団(野球)	1,583,600円

2 事業の成果

北海道の大自然、生活及び文化を体感するとともに、豊かな創造性と責任ある行動を体得することにより、青少年の健全育成を推進することができ、また、両市の友好関係をより一層深めることができました。

作成課【教育部 スポーツ課】	事務事業番号	130305

友好都市小学生スポーツ交流事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	スポーツ推進審議会運営事業
施策の体系	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
	スポーツ

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
472 千円	681 千円	69.3 %	8 円	一般財源 8 円	271 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	472千円

1 事業内容 【拡充】

(1) 平成28年度に策定した、みよし市スポーツ推進計画の計画期間が令和7年度で終了するため、令和8年度から新たな推進計画の施行が必要となります。そこで、スポーツ推進計画の策定について、教育委員会から審議会への諮問、審議会における調査審議及び審議会から教育委員会への答申を経て「みよし市スポーツ推進計画2026-2030」を策定しました。

≪スポーツ推進審議会≫

期日	内容
4月18日(金)	第1回審議会:みよし市スポーツ推進の策定について諮問、みよし市スポーツ推進計画2026-2030(案)について、令和7年度スポーツ活動に関するアンケート調査について
7月25日(金)	第2回審議会:みよし市スポーツ推進計画2026-2030(案)について、令和7年度スポーツ活動に関するアンケート調査の結果について
2月13日(金)	第3回審議会:パブリックコメントの実施結果について、みよし市スポーツ推進計画2026-2030(案)について

(2) 主な執行経費

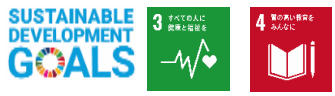
区分	内容	事業費
報酬	スポーツ推進審議会委員報酬(9人)	161,000円
印刷製本費	スポーツ活動に関するアンケート調査用封筒、スポーツ推進計画2026-2030	276,433円
通信運搬費	スポーツ活動に関するアンケート調査郵送料	34,952円

2 事業の成果

スポーツ活動に関するアンケート調査の実施・考察、本市のスポーツを取り巻く現状とその課題の整理、パブリックコメントにおける市民の意見集約等を行い、本市において一層スポーツを推進していくための施策の指針となる「みよし市スポーツ推進計画2026-2030」を策定しました。

作成課【教育部 スポーツ課】	事務事業番号	220302

スポーツ推進審議会運営事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	スポーツ推進委員等運営事業
施策の体系	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
	スポーツ

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
6,625 千円	6,804 千円	97.4 %	108 円	一般財源 108 円	7,060 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	35千円	6,590千円

1 事業内容

(1) 市民が生涯にわたり健康で豊かな生活が送れるよう、スポーツによる健康づくり・体力つくりのきっかけやスポーツに親しむ機会を提供するために、20人で構成するスポーツ推進委員は、毎月1回の定例会を開催し、本市におけるスポーツの普及・啓発について協議を行いました。また、各種イベントを企画し、実施主管となり、地区スポーツ委員と連携しながら、地域における健康づくり・体力つくり、生涯スポーツの推進に取り組みました。

また、スポーツ推進委員の資質向上を図るため、研修会に参加しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	スポーツ推進委員報酬(20人)	4,704,000円
報償費	地区スポーツ委員謝礼(24人)	973,000円

2 事業の成果

スポーツ推進委員は、各種研修会への参加で得た知識・技能を活用し、本市のスポーツ推進を図ることができました。また、スポーツ推進委員と地区スポーツ委員が連携し、各種スポーツイベントを開催することで、スポーツを通じた地域づくりを推進することができました。



第48回地域対抗ソフトボール大会
(6月7日(土))



令和8年新春みよし市マラソン駅伝大会
(1月25日(日))

作成課【教育部 スポーツ課】	事務事業番号	220303

スポーツ推進委員等運営事業におけるSDGsの取組

款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	スポーツ協会補助事業
施策の体系	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
	スポーツ

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
11,155 千円	12,721 千円	87.7 %	183 円	一般財源 183 円	11,006 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	11,155千円

1 事業内容

(1) みよし市における体育・スポーツ団体を総括するみよし市スポーツ協会の活動を支援しました。

≪会議≫

期日	内容
5月22日(木)	第1回評議員会、第1回理事会
6月12日(木)	スポーツ少年団連絡会議
8月～10月	財政部会、表彰審査部会、総合スポーツ大会部会、広報部会
3月25日(水)	第2回評議員会、第2回理事会

≪事業≫

期日	内容	参加者数
7月12日(土)、10月25日(土)	スポーツ指導者講習会	延べ62人
9月13日(土)、9月27日(土)	第18回市町村対抗駅伝競走大会みよし市選手選考会	延べ41人
10月12日(日)	みよしスポーツ祭2025への参加(スポーツ少年団)	189人
10月5日(日)～2月1日(日)	第36回スポーツ協会総合スポーツ大会(17団体)	1,908人
11月15日(土)	ドラゴンズJr・みよし市少年野球交流会	50人
12月6日(土)	第18回市町村対抗駅伝競走大会出場	18人
3月1日(日)	みよしスポ協発行(市内全戸配布)	―
4月1日(火)～3月31日(火)	助成事業 (加盟団体19団体・スポーツ少年団15団体)	5,061人

(2) 主な執行経費

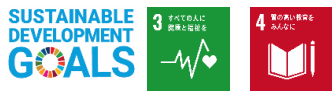
区分	内容	事業費
補助金	みよし市スポーツ振興事業補助金 [交付先]みよし市スポーツ協会	11,154,809円

2 事業の成果

みよし市スポーツ協会は、スポーツ協会総合スポーツ大会をはじめとする各種事業の開催や加盟団体・スポーツ少年団への活動支援を行い、市民へのスポーツの普及・進行を図ることができました。また、みよし市スポーツ協会主催のスポーツ指導者の資質向上を目的とした講習会を開催し、指導者の育成や指導技術の向上を図ることができました。

作成課【教育部　スポーツ課】	事務事業番号	220304

スポーツ協会補助事業におけるSDGsの取組



款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

小事業名	体育施設管理運営事業
施策の体系	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
	スポーツ

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額		前年度決算額
129,889 千円	146,876 千円	88.4 %	2,126 円	一般財源 1,700 円	139,251 千円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	24,829千円	0千円	1,183千円	103,877千円

1 事業内容

(1) 三好公園運動施設、三好池カヌー競技場、保田ヶ池公園カヌーポロ競技場、旭グラウンド、きたよしグラウンド、太陽の広場、三好丘公園・桜公園のテニスコート及び多目的広場並びに黒笹公園多目的広場の維持管理業務を実施しました。

三好公園運動施設利用状況			きたよし地区運動施設・カヌー競技場等利用状況		
施設名	件 数	人 数	施設名	件 数	人 数
野球場	369件	16,678人	三好丘公園	1,128件	9,380人
陸上競技場	932件	42,588人	三好丘桜公園	1,710件	10,761人
テニスコート	5,701件	39,355人	黒笹公園	539件	31,907人
弓道場	214件	3,587人	旭グラウンド	251件	11,427人
体育センター	208件	1,848人	きたよしグラウンド	117件	3,769人
アリーナ	1,010件	41,673人	ゲートボール場	78件	1,941人
剣・柔道場	844件	17,507人	太陽の広場	550件	3,884人
卓球場	8,993件	37,660人	三好池カヌー	977件	14,010人
トレーニング	15,331件	15,331人	三好池研修室	39件	2,080人
会議室	321件	5,431人	保田ヶ池カヌーポロ	309件	3,481人
計	33,923件	221,658人	計	5,698件	92,640人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	消火器・誘導灯蓄電池・AEDバッテリー等	3,579,156円
光熱水費	三好公園総合体育館、野球場、陸上競技場、黒笹公園、旭グラウンド、三好池カヌーセンター等	34,736,494円
修繕費	三好公園弓道場外壁修繕、三好公園階段修繕等	6,596,898円
委託料	三好公園総合体育館等設備管理業務委託	22,990,000円
	旭グラウンド芝生維持管理業務委託	26,116,200円
	三好公園・総合体育館日常清掃等管理業務委託	8,063,000円
	太陽の広場不動産鑑定評価業務委託	649,000円
	三好公園総合体育館トレーニング指導等業務委託	8,771,400円
賃借料	三好公園第9駐車場・ゲートボール場、きたよしグラウンド用地借地料	7,840,623円
工事請負費	三好公園総合体育館公衆Wi-Fi導入工事	1,164,900円
備品購入費	サッカーゴール(2台)、アルミゴール運搬車(2組)、LEDカウント表示器(1台)、複合機(2台)	1,180,839円

2 事業の成果

太陽の広場不動産鑑定評価を行ったことにより、用地取得を行うための評価額を算定することができました。

三好公園総合体育館内に公衆Wi-Fiを導入したことにより、大会等において結果の集計、公表及び情報発信等を迅速に行うことができ、利用者の利便性向上を図ることができました。

老朽化により損傷した黒笹公園多目的広場のサッカーゴールを更新したことにより、利用者が安心してサッカー場を利用できるようになったほか、アルミゴール運搬車を設置したことにより、中学生や少人数でも安全かつ簡易にゴールを移動できるようになりました。

三好公園野球場に設置されたカウント表示器を更新したことにより、公式戦において現在の野球ルールに基づく適切なBSOカウント表示が行えるようになりました。

三好池カヌーセンター及び保田ヶ池カヌーポロ事務所に設置された複写機のリース期間満了に伴い、各施設における年間印刷使用量を鑑み、複写機のリース契約を行わず機器を購入することにより、ランニングコストを削減することができました。

各施設を市民が安全に利用できるよう、三好公園総合体育館等設備管理業務委託等の実施や社会体育施設、都市公園有料運動施設の緊急修繕等を実施し、適正な施設維持管理を行いました。



三好公園総合体育館公衆Wi-Fi導入工事



黒笹公園多目的広場サッカーゴール



三好公園野球場カウント表示器



保田ヶ池カヌーポロ事務所複写機

作成課【教育部　スポーツ課】	事務事業番号	220305

体育施設管理運営事業におけるSDGsの取組